

## 竹林寺、出土文化財管理センター見学 (第 20 回例会報告)

広島大学マスタース会員 原野 昇

2017 年 9 月 29 日 (金) 快晴。参加者 12 名 (広島大学マスタース会員 8 人、  
広大マスタース友の会会員 4 人)。

午前 9:00、市役所前出発 (自家用車 6 台、10 人)、西高屋駅合流 (1 台、1  
人)、現地合流 (1 台、1 人)。

9:40、最初の見学先、東広島市出土文化財管理センター (河内町中河内) に  
到着。

### (1) 出土文化財管理センター見学 (9:50~10:50)

東広島市教育委員会文化課主査・石垣敏之氏の懇切丁寧な説明を聞きながら、  
1 階の出土品展示物を見て回った。私たちの住んでいる東広島市域のどの辺りに  
古来人々が暮らしてきたか、石器時代から、縄文、弥生、古墳時代を経て、  
中世、近世にわたってどのような暮らしであったか、おぼろげながらその姿が  
イメージできたように思う。これまで、5 世紀前半頃築造の三ツ城古墳が県内  
最大の前方後円墳であることや、史跡安芸国分寺跡が奈良時代 (750 年頃) の  
重要な遺跡であることくらいしか知らなかったが、広島大学から遠くない下見  
の黄幡 (おうばん) 1 号遺跡から出土した弥生時代の水路として利用された木  
材 (木樋) が、元は船底材だったものを再利用したものであること、高屋町の  
西本 6 号遺跡 (7 世紀末~8 世紀初頭) からは、『日本書紀』に記述のある大祓  
(おおはらえ) に関連すると思われる建物跡や出土物など、全国的に見ても貴  
重な出土品だということなどは初めて知ったことで、大変印象に残った。



出土文化財管理センター (幾田奉文氏撮影)

## (2) 竹林寺見学（11:30～12:30）

2 番目の見学先は、小野篁（平安時代初期）にゆかりがあるという言い伝えが残る竹林寺（河内町入野）であった。まず国指定重要文化財の本堂外陣で、同寺の佐伯修芳住職から寺の縁起などを聞き、その後内陣に入らせてもらった。本尊の千手観音菩薩は 33 年に 1 度のご開帳のため、拝見することはできなかったが（2017 年 11 月 3～5 日には、本堂ふき替え工事完了記念落慶法要のため特別ご開帳）、本尊が納められている須弥壇と厨子、その他を見せてもらった。その後、普段は非公開の貴重な宝物「紙本著色（しほんちやくしよく）竹林寺縁起絵巻」（広島県指定重要文化財）を見せてもらった。次いで、本堂右手の十王堂（東広島市指定重要文化財）、本堂左手の護摩堂（同）、宝篋印塔（同）、鐘楼を見学した後、以前三重塔があった場所近くの休憩用あずま屋で昼食をとり解散した。



竹林寺

市教育委員会文化課および竹林寺のご協力のおかげで、有意義な例会を実施できたことに感謝いたします。